

令和7年度学校評価について

野田鎌田学園横浜高等専修学校では令和7年12月に学校評価として、生徒・保護者にアンケートを実施した。有効回答は生徒 81%、保護者 48%であった。

回答は3段階で3（よくあてはまる）、2（普通）、1（あてはまらない）であり

以下に割合を表示する。※四捨五入計算のため合計が100%とならない場合あり

質問項目	生徒			保護者			該当する 大項目
	3	2	1	3	2	1	
1 学校の目標・目的は示されていて理解しているか	38	55	7	23	71	6	I
2 授業内容は理解できているか	30	62	8	14	81	5	II
3 先生は情熱をもって授業をしていると思うか	22	67	11	21	71	8	II
4 先生は生徒の学力を把握していると思うか	22	64	14	22	72	7	II
5 成績の評価の方法は適正と思うか	30	57	13	21	73	6	II
6 教育課程編成は適切と思うか	21	69	10	20	76	4	II
7 困ったときに相談できる先生はいるか	23	61	16	18	70	12	III
8 生徒指導（生活指導）は充分なされていると思うか	26	50	24	17	69	14	III
9 進路決定率の向上が図られているか	21	69	10	10	81	9	III
10 技術や資格取得に十分な体制がとられているか	28	62	10	17	71	12	III
11 退学率の低減が図られているか	19	62	19	10	77	12	III
12 生徒の学力向上への支援は行われているか	19	63	19	18	69	13	III
13 就職・進学指導に関する体制は整っているか	25	64	11	17	70	12	III
14 生徒相談に関する体制は整っているか	21	66	14	19	70	11	III
15 多様な生徒に対する様々な支援が全体的に整っているか	19	69	11	20	68	12	III
16 生徒の健康管理に対する体制は整っているか	22	67	11	16	77	7	III
17 部活動等について十分な支援体制が整っているか	19	60	21	10	68	23	III
18 教職員の人数は適切か	20	68	12	15	72	13	IV
19 学食に満足しているか	44	46	9	58	35	7	IV
20 施設・設備は、適切に整備されているか	32	57	11	31	63	7	V
21 防災、安全に対する体制は整っているか	26	64	10	15	81	4	V
22 保護者と適切に連携しているか	20	56	23	14	65	21	VI
23 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	23	67	10	17	80	3	VI
24 学校は学校関係者、関係企業、地域社会からの意見収集に努めているか	19	69	12	17	77	6	VI
25 この学校に入学して良かったと思うか	24	66	10	41	53	6	

令和7年度学校評価について

野田鎌田学園横浜高等専修学校では令和7年12月に自己評価のため、生徒・保護者による学校評価アンケート等をもとに、在籍している教職員にアンケートを実施した。有効回答は89%であった。回答は3段階で3（あてはまる）、2（普通）、1（あてはまらない）であり、以下に割合を表示する。※四捨五入計算のため合計が100%とならない場合あり

質問項目	職員			
	3	2	1	
1	教育理念を踏まえ、当校としての目的・目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしている	50	50	0
2	目的・目標の達成および人材養成のために必要な教育課程を作成したうえで、系統的・段階的に授業科目を配置している	38	56	6
3	科目内容に応じ講義・実習など適切な授業形態がとられ、かつ適切な教材が用いられ、適切な成績評価を行っている	50	50	0
4	目的・目標の達成および人材養成のために必要な卒業認定方針を学科・コースごとに定め、それに基づき卒業認定をしている	69	25	6
5	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに資質・能力についての目標を定め、その目標が達成されている	50	50	0
6	生徒が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できている	44	56	0
7	入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行っている	63	31	6
8	生徒の受け入れは、入学定員に基づき、適正に行っている	50	50	0
9	生徒の学力や学習状況に応じ補習を行うなど学習支援に取り組んでいる	56	44	0
10	生徒の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っている	31	56	13
11	障がいのある生徒、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な生徒に対する支援を、適切な体制で行っている	50	44	6
12	カウンセラーの配置、相談室の設置など、生徒の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営している	88	13	0
13	転学・退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱えている生徒に対し、適切な対応を行っている	63	38	0
14	学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、生徒の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用している	50	50	0
15	生徒の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知・運用している	75	25	0
16	生徒のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知・運用している	56	44	0
17	教育課程を実施するのに必要な資格・要件を備えた教員を確保するために採用基準等を整備し、適切に運用している	40	53	7
18	教員の人数や構成、一人当たりの授業時間数が適切である	20	60	20
19	教員の専門性・教授力等が把握、評価されている	29	57	14
20	学校の目的に応じた校務分掌が整備され、業務分担・責任体制が規定等で定められている	38	56	6
21	教員間で連携・協力体制が構築されている	33	53	13
22	教育活動の改善、工夫のための研修が行われて、教員の研究活動や自己啓発等への支援がされている	27	67	7
23	教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等が備えられている	44	50	6
24	生徒の学習支援のための施設（自習室、進路指導室）、休憩・食事のためのスペースが確保されている	50	50	0
25	図書室が設置され、専攻分野の教育に必要な図書が配架され、生徒が閲覧できるようにしている	44	31	25
26	学校における安全対策・防災安全教育が適切に行われている	44	50	6
27	火災の発生や防犯防災に関する組織体制が整備され運営されている	38	56	6
28	施設設備等の日常点検、定期点検、補修等が適切に行われている	44	50	6
29	施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施している	38	56	6
30	教育目的、教育目標の中長期的計画が定められ、実現に向けた具体的な内容が示されている	27	60	13
31	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立している	36	64	0
32	学校運営の組織体制が整備され、適切な運営・マネジメントが行われている	33	60	7
33	学校関係者、関連企業、地域社会等からの意見を学校運営の改善・向上のために活用している	36	50	14
34	学校評価を実施し、結果および改善状況についての情報を公開している	63	25	13
35	学校評価の結果に基づく改善への取り組みを組織的かつ継続的に行っている	36	50	14
36	学校の教育活動、学修成果、運営状況に関する情報を積極的に公表している	47	40	13
37	教育目的・目標の達成に向け、関連する教育機関、産業界、社会全体からの理解を得るような取り組みを行っている	29	57	14

自己評価

上記及び付随して寄せられた意見を踏まえての自己点検評価を別紙に記載する。

大項目	小項目	番号	評価項目	自己点検評価結果	評価結果の分析	今後の改善方策
I 教育理念・目的・目標	教育理念、目的および目標の設定等	1	教育理念を踏まえ、当校としての目的・目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしている	3	教室への掲示、集会での校長講話等で明確にできている。	継続して周知に取り組む
II 教育課程・教育の実施、学修成果	教育課程の編成と授業科目	2	目的・目標の達成および人材養成のために必要な教育課程を作成したうえで、系統的・段階的に授業科目を配置している	2	目標に基づいた科目の配置ができている。	情報メディア高等科の一部科目の教材を令和8年度から改善する
	教育の実施	3	科目内容に応じ講義・実習など適切な授業形態がとられ、かつ適切な教材が用いられ、適切な成績評価を行っている	3	担当教員の裁量のもと適切に行われている	令和8年度より40台のタブレットを導入し、活用する
	単位・卒業認定	4	目的・目標の達成および人材養成のために必要な卒業認定方針を学科・コースごとに定め、それに基づき卒業認定をしている	3	テスト、提出物、実技など多様な評価をしている	継続して、生徒の達成状況の共有を行う
	学修成果目標の達成状況	5	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに資質・能力についての目標を定め、その目標が達成されている	3	卒業と同時にとれる資格、在学中にとれる資格を推奨している	継続して資格取得のサポートを行う
	6	生徒が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できている	2	就職希望がありながら進路未定となった生徒が数名いた	担任と進路指導部の連携を強化する	
III 生徒の受け入れ、生徒支援	生徒募集および入学者の選抜、収容定員管理	7	入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行っている	2	オープンキャンパス等で丁寧に説明できている	教務担当と広報担当の連携を強化する
		8	生徒の受け入れは、入学定員に基づき、適正に行っている	3	募集定員を守ることができた	継続して適切な募集活動を行う
	自主的な学習の促進に対する支援	9	生徒の学力や学習状況に応じ補習を行うなど学習支援に取り組んでいる	3	夏季、冬季、春季に適宜補習を実施することができた	引き続き日々の授業での理解度の把握に努める
		10	生徒の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っている	1	授業実施計画を詳細なシラバスにまとめることはできなかった	教務部による各教員へのフォローを強化する
	多様な生徒に対する支援	11	障がいのある生徒、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な生徒に対する支援を、適切な体制で行っている	2	発達障害等に関する配慮等を職員研修で実施できた	引き続き月例での職員研修内容を充実させる
	学校生活に対する支援	12	カウンセラーの配置、相談室の設置など、生徒の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営している	3	適切に運営できた	継続して生徒が相談しやすい環境づくりに努める
		13	転学・退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱えている生徒に対し、適切な対応を行っている	3	担任による指導や面談、教務部によるフォローを行っている	やむを得ず進路変更を希望することになっても丁寧に対応する
		14	学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、生徒の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用している	3	厚生部により適切に運用されている	消毒等による衛生管理を引き続き徹底する
15		生徒の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知・運用している	3	事務部により適切に運用されている	奨学金等の制度変更に対応できるよう日々情報収集する	
16	生徒のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知・運用している	3	進路指導部により適切に運用されている	求人票をより閲覧しやすくする仕組みづくりを行う		
IV 教育実施組織・教員	教員の配置、募集、採用	17	教育課程を実施するのに必要な資格・要件を備えた教員を確保するために採用基準等を整備し、適切に運用している	2	令和7年度は教員の不足があった	より適切な職員募集を行う
		18	教員の人数や構成、一人当たりの授業時間数が適切である	1	令和7年度は教員の不足があり年度途中までコマ数の多い教員がいた	法人本部と連携し、適切な職員募集を行う
		19	教員の専門性・教授力等が把握、評価されている	2	年に2回以上管理職との面談を実施している	継続して職員研修の充実に努める
	教員の組織編制等	20	学校の目的に応じた校務分掌が整備され、業務分担・責任体制が規定等で定められている	2	適切な分掌を設置しているが、掛け持ちの職員が多くなってしまった	業務の取捨選択を適切に行っていく
		21	教員間で連携・協力体制が構築されている	2	前年度よりも自由に議論、相談できるようになった	引き続き、風通しの良い職場環境づくりを目指す
教員の資質向上	22	教育活動の改善、工夫のための研修が行われて、教員の研究活動や自己啓発等への支援がされている	2	外部での研修を受講しにいく教員もいた	外部での研修や個人でのスキルアップを推奨していく	
V 教育環境	教育環境の整備	23	教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等が備えられている	2	管理庶務部により適切に管理されている	タブレット導入台数の増加を計画している
		24	生徒の学習支援のための施設（自習室、進路指導室）、休憩・食事のためのスペースが確保されている	3	学食への満足度は高い数字が記録された	生徒数増加に合わせて、スペース確保に努める
		25	図書室が設置され、専攻分野の教育に必要な図書が配架され、生徒が閲覧できるようにしている	1	図書数がまだ少ない	必要な図書の確保に努める

	安全対策、防災組織	26	学校における安全対策・防災安全教育が適切に行われている	2	総合学習等の時間も用い適切に実施された	継続して安全管理に確実に取り組む
		27	火災の発生や防犯防災に関する組織体制が整備され運営されている	2	学校安全計画に基づき適切に運営された	継続して安全管理に確実に取り組む
	施設・設備等の点検、改善等	28	施設設備等の日常点検、定期点検、補修等が適切に行われている	2	管理庶務部により適切に管理されている	継続して安全管理に確実に取り組む
		29	施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施している	2	管理会社と連携し適切に実施された	継続して安全管理に確実に取り組む
VI 教育活動の基盤と改善・向上の取組	中期事業計画と	30	教育目的、教育目標の中長期的計画が定められ、実現に向けた具体的な内容が示されている	2	長期的かつ具体的というところまでの計画は定められなかった	時系列的な計画の作成に取り組む
	財政基盤	31	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立している	3	財務基盤は安定している	法人本部と連携し、適切な財務管理を行う
	学校運営	32	学校運営の組織体制が整備され、適切な運営・マネジメントが行われている	2	校長のリーダーシップが発揮された	引き続き職員が同じ方向を向けるよう組織整備を進める
	学校評価の実施と改善活動	33	学校関係者、関連企業、地域社会等からの意見を学校運営の改善・向上のために活用している	2	地域社会との結びつきはやや弱かった	学校外での活動も充実させていく
		34	学校評価を実施し、結果および改善状況についての情報を公開している	2	ガイドラインに基づく学校評価が実施できた	自己評価の改善点の改善に努める
		35	学校評価の結果に基づく改善への取り組みを組織的かつ継続的に行っている	2	前年から、学校評価の仕方そのものを改善した	継続的にPlan Do Check Actに努める
	社会からの理解と	36	学校の教育活動、学修成果、運営状況に関する情報を積極的に公表している	2	ホームページ、X、インスタグラム等を活用することができた	継続して周知に取り組む
	情報の公表	37	教育目的・目標の達成に向け、関連する教育機関、産業界、社会全体からの理解を得るような取り組みを行っている	2	スイーツ甲子園等の外部コンテストに参加できた	神奈川県専修学校各種学校協会等とも連携し社会への働きかけを進める

※自己点検評価結果については、評価項目に記載の基準を満たしているかを、以下の3段階で表示している

3：基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている

2：概ね基準を満たしている

1：基準を満たしておらず改善が必要

#### 自己点検評価の考察

自己点検評価を行うにあたって、まずは保護者アンケート、生徒アンケートを実施した。回答の選択肢の特性上、回答は「理解している」、「普通」というところに集中しがちであるが、その中で「よく理解している」といった高評価を受けることができたのが、保護者では、「学食への満足度」、「この学校に入学させてよかった」、「施設・設備面」の3項目、生徒では、「学食への満足度」、「施設・設備面」、「目標の理解」の3項目であった。これらからいえることは、学食を含む施設面に概ね高い評価を受けたということで、その一方教育面については突出して高い評価にはなっていないということになる。逆に、「理解していない」、「思わない」が多かった項目は、保護者では、「部活動への支援」、「保護者との連携」の2項目で、生徒では、「生徒指導面」、「保護者との連携」、「部活動への支援」で概ね一致している。部活動についてはかなり熱心に活動している生徒と、まったく参加していない生徒がいるので、満足している生徒もいる一方、希望の活動がないというケースもあると思われる。保護者との連携については、自由記述において「面談を多くしてほしい」、「授業参観があるとよい」、「保護者会の場があるとよい」という複数の意見をいただいた。生徒指導面については「わからないところを教えてもらえなかった」、「注意ができていない」という意見が挙げられた。指導において教員によりばらつきがあったものと思われる。これらのことを踏まえたうえで、在籍している職員へのアンケートを次に実施した。その回答も踏まえて、管理職において、上記の3段階評価を行った。アンケート結果をもとに、各評価項目において、各校務分掌での活動とそれを他の教員とも共有していくということを課題としてとらえている。自己評価を1としたものについては、シラバスの作成、蔵書数の少なさについては改善の余地が大きいものと認識している。また令和7年度は年度途中まで一部科目の指導教員が十分ではなく、時間割上一部教員に負担がかかってしまったので、適切な教員数の確保に努めていきたい。自由記述で多くご指摘いただいた、保護者との連携については情報伝達と公開という点で少しでも満足度が高くなるよう学校運営において意識を高めていきたい。